

近畿地方整備局
資 料 配 付

配布日時	平成13年1月18日 14:00
------	---------------------

件 名	梅田ターミナル地区における「バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験」のモニター募集について
-----	---

取 扱 い	_____
-------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ
配布場所	大手前記者クラブ
配布場所	大阪市政記者クラブ

問い合わせ先	近畿地方整備局 道路部 交通対策課 課長 浅田 または 課長補佐 田中 TEL 06-6942-1141(代 表) 6945-9107(夜間直通) FAX 06-6942-6580
--------	--

梅田ターミナル地区における「バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験」のモニター募集について

1. 実験概要

国土交通省では、ITS（高度道路交通システム）の一環として、バリアフリールート案内など、歩行空間などにおける歩行者、車椅子使用者、自転車などの安全性・快適性・利便性の向上を目指す歩行者ITSについても積極的に取り組んでいるところです。

本実験は、7つの鉄道駅が集中し大阪の交通拠点である梅田ターミナル地区の地下街において、携帯情報端末（PDA）を用い、高齢者・身体障害者を含む歩行者支援実験を実施し、今後の歩行者ITSのサービス内容を一部ご紹介するとともに、今後の歩行者ITSの課題等の把握を行うものです。

なお、実験は2月19日からを予定していますが、実験の内容等につきましては、後日、詳細が決まった段階で改めて記者発表を致します。

2 モニター募集について

実験のモニターとしては、身体障害者団体等を通じてお願いする以外に、一般からの希望者も広く募集するものです。

3. モニターの募集期間

平成13年2月1日から2月16日

4. モニターの公募方法

モニターはインターネット、FAX、郵便で受け付けます。

募集要項および申込用紙の入手先・提出先は次のとおりです。

梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1

（財）大阪市都市工学情報センター内

○インターネット：<http://www.umed-its.com>

○電話：06-6647-1914

○FAX：06-6647-1920

5. その他

①本実験は、大阪市と共同で実施するものであり、別途、大阪市から大阪市政記者クラブに本内容についての資料提供があります。

②大阪市の資料提供には、大阪市が独自で実施する次の2つの実験についても記載されておりますが、そちらについては、下記までお問い合わせ下さい。（参考資料参照）

○実験名

- （・バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験
- ・駐車場の情報提供、予約実験

○問い合わせ先

大阪市計画調整局計画部

企画主幹 松野、古川

06-6208-7875、06-6208-7873

梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

〒556-0017

大阪市浪速区湊町 1-4-1 大阪市都市工学情報センター内

TEL:06-6647-1914 FAX:06-6647-1920

ホームページ:<http://www.umedaits.com> e-mail:info@umeda-its.com

この度、国土交通省近畿地方整備局と大阪市では、梅田ターミナル地区における地下街を中心とした地区においてバリアフリー経路案内等の歩行者支援実験を行うこととなりました。

より快適な経路案内等の歩行者支援システムを構築していくために、多くの方にこの実験に参加していただき、実際の利用者の声をアンケート等により収集していきます。

【実験内容】

モニターとなられた方には、特定日に現地(梅田ターミナル地区)に来ていただき、実際にPDAを用いた経路案内を体験していただきます。

この実験は、PDA(携帯情報端末)により、自己位置をリアルタイムに確認しつつ、目的地までの経路案内を行うものであり、車いす利用者や高齢者といった移動困難者等にも、利用者の条件にあったバリアフリー経路を案内するものです。モニターには指定された経路あるいは梅田の地下街を自由に歩いていただき、PDAより提供される情報の内容や機器の使い心地等について、アンケートによりご意見を収集させていただきます。(実験は2時間程度を想定しております)

また、実験は4つの区分を予定しており、条件に当てはまると思われる区分を選びお申込み下さい(区分毎の条件については【モニター要件】の項を参照)。

実験期間は平成13年2月19日(月)～3月20日(火)を予定しており、区分毎に現地に来ていただく特定日を設定しております。

なお、実験参加者には粗品(「スルッとKANSAI」カード)を差し上げます。より多くの方が実験へ参加していただきますようお願い申し上げます。

【モニター要件】

実験は次の4区分を予定しております、条件に当てはまると思われる区分を選びお申込み下さい。

添付の申込用紙にある区分毎の特定日に現地に来訪でき、実験に関するアンケートに答えていただける方で、在住地等は問いません。

ただし、小学生以下でモニターに申込みをご希望される方は保護者同伴にてご参加下さい。

<区分1>

○一般利用者

地図に加え音声や文字を利用した経路案内を行いますので、梅田ターミナル地区に不案内な方や地図を読むのが苦手な方などもご参加下さい

<区分2>

○車いす利用者等の肢体不自由者

障害の度合いに応じたバリアフリー経路の案内を行います。

<区分3>

○視覚障害者

音声を用いた経路情報の提供を行いますので、弱視、全盲の方を問わずご参加下さい。

<区分4>

○聴覚障害者

地図に加え文字を用いた経路情報の提供を行います。

【モニター申込み方法】

添付の申込用紙に必要事項を記入し、次のいずれかの方法で申込用紙を送付して下さい。

○ファクシミリにより申込用紙を送信 FAX:06-6647-1920

○郵便にて実験事務局まで申込用紙を郵送

(インターネットホームページからも申込みができます <http://www.umedai-its.com>)

なお、モニター数は1日30名程度を予定しており、申込み多数の場合には抽選とさせていただきます。
また、モニター決定者には後日郵便にて通知させていただきます。

【モニター申込み締切り】

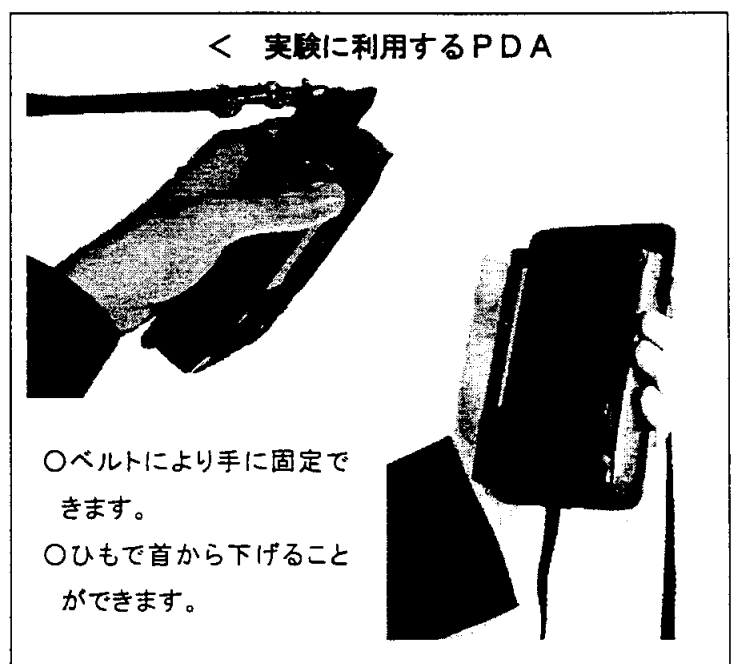
平成13年2月16日(金)

ただし、実験参加希望日の1週間前までにはお申込み下さい。

【その他】

○実験当日には、現地本部(JR北新地駅付近)に集合していただきます。

○実験に利用するPDA(携帯情報端末)は図のようなものです。



バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験モニター申込用紙

下記事項をご記入の上、ファックスまたは郵送にてお申込み下さい。

お 名 前	フリガナ		性別	年齢
	お名前 <small>保護者氏名(小学生以下の方の場合)</small>		男・女	()歳
ご 住 所	□□□-□□□□			
電話番号	()	FAX番号	()	

希望する区分を1つ選んで下さい。

☐ 区分1 ☐ 区分2 ☐ 区分3 ☐ 区分4

モニターを希望する日時を第1希望は◎、第2希望は○として各1ヶ所記入して下さい。
実験時間は午前は10:00～12:00、午後は14:00～16:00、夜は18:00～20:00です。
なお、表中の空白の部分が実験実施日時です。

●区分1（一般利用者を対象）を希望する方はこちらへ

	2月				3月			
	19 20	23 24 25 26	2 3 4	7 8 9	12	16 17	19 20	
	月 火	金 土 日 月	金 土 日	水 木 金	月	金 土	月 火	
午 前								
午 後								
夜								

●区分2（車いす利用等の肢体不自由者を対象）を希望する方はこちらへ

	2月				3月			
	19 20	23 24 25 26	2 3 4	7 8 9	12	16 17	19 20	
	月 火	金 土 日 月	金 土 日	水 木 金	月	金 土	月 火	
午 前								
午 後								

●区分3（視覚障害者を対象）を希望する方はこちらへ → どちらかに○をして下さい。(弱視・全盲)

	2月				3月			
			2 4 7			16 17	19 20	
			金 日 水			金 土	月 火	
午 前								
午 後								

●区分4（聴覚障害者を対象）を希望する方はこちらへ

	2月				3月			
	19 20	23 24 25 26	3					
	月 火	金 土 日 月	土					
午 前								
午 後								

あなたは普通どのような経路を選択されていますか？どれか1つを選んで下さい。

- ☐ 上下移動には階段やエスカレータは利用せず、エレベータだけを利用する。
- ☐ 上下移動には階段は利用せず、エスカレータとエレベータを利用する。
- ☐ 遠回りになるのであれば、ある程度までの段数の階段は利用する。
- ☐ 階段を気にせず、最も距離の短い経路を選択する。

【申込み先】

梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1大阪市都市工学情報センター内
FAX: 06-6647-1920

本申込書の内容は、実験目的以外には一切使用いたしません。

平成13年1月18日

大阪市計画調整局計画部
企画主幹 松野、古川
電話 (6208)7875、7873

梅田ターミナル地区移動支援のITS社会実験の開始
及びモニター募集等について

梅田ターミナル地区における移動支援のITS社会実験については、昨年11月1日にその概要を発表したところですが、具体的な実施スケジュールと実験モニターの募集内容等がまとまりましたのでご報告します。

この実験は、オリンピックの招致を計画する2008年を目標として、あらゆる人が、安心して都市内を円滑に移動できるよう『移動に関する総合的な都市情報システム』を構築するためのパイロット的な取り組みであり、今回の実験で、導入の効果と課題の把握等を行い、今後の具体的な取り組みの方向を検討します。

本実験は、①バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験（国土交通省近畿地方整備局との共同実験）、②バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験、③駐車場の情報提供、予約実験の3つの互いに連携する実験からなり、最先端の情報通信技術を駆使して行うものです。

実験は、1月29日（月）から順次開始し、3月末まで行う予定です。

それぞれの実験の実施概要、参加方法等は、別紙のとおりですが、専用の携帯情報端末器を用いる実験等については、本実験にご協力いただくモニターを募集します。これは、身体障害者団体等を通じてお願いする以外に、一般からも広く募集するものです。

モニター実験等は、2月19日（月）から開始しますが、その詳細は、後日、事前説明します。

なお、本実験のうち、①バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験の内容については、別途、国土交通省近畿地方整備局から、近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブにも資料提供され、本件資料についても、参考として添付されます。

〈 芳川氏 〉

梅田ターミナル地区移動支援実験への参加方法等

■実験概要（詳細は資料1）

本実験は、互いに連携する以下の3つの実験からなります。

①バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験（モニターを募集）

通信機能をもつPDA（携帯情報端末）を用い、地下街における自己位置をリアルタイムに確認しつつ、目的地までの経路案内を行う。移動困難者については、利用者の条件に合致した最適なバリアフリー経路を案内する。（国土交通省近畿地方整備局との共同実験）

②バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験（モニターを募集）

大阪駅前を発着する多目的に利用される4方面、7系統の路線バスのリアルタイムな運行情報（バス位置、接近情報、所要時間、リフト付きバスやノンステップバスなどのバスの種類等）をPDAやパソコン、携帯電話を通じて利用者に提供する。PDAやパソコン利用のモニター利用者に対しては、接近情報等を音声等によりアクティブに提供する。

③駐車場の情報提供、予約実験

梅田地区の一時預かり駐車場（25カ所）の情報（位置、営業時間、料金等のほか、車いす利用の際のバリアフリー情報等）を、インターネット上のホームページにより一般に提供する。また、大阪駅前駐車場、桜橋駐車場では、車いす利用者等を対象に、障害者用駐車スペースの予約等をあらかじめ受け付ける。

■モニター募集（詳細は資料2）

専用の携帯情報端末器を用いる①と②の実験等については、本実験にご協力いただくモニターを募集します。これは、身体障害者団体等を通じてお願いする以外に、一般からも広く募集するものです。モニター実験は、2月19日(月)から3月20日(火)の間の特定の日または期間に行います。

実験の専用ホームページまたは、所定の申込用紙で、2月1日(木)から2月16日(金)まで、応募を受け付けます。

【募集要項及び申込用紙の入手先、提出先】

梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

○インターネット ホームページ <http://www.umed-its.com>

○電 話 06-6647-1914

○ファクシミリ 06-6647-1920

○郵送先 〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1

(隣大阪市都市工学情報センター内)

■インターネット等による実験への参加（詳細は資料1）

②のバスに関する実験については、3月1日(木)から3月末まで、iモード対応の携帯電話からリアルタイムのバスの運行情報が入手できます。

○携帯電話(iモード) <http://www.umed-its.com/i>

③の駐車場に関する実験については、1月29日(月)から3月末までインターネットのホームページから情報等が入手できます。また、2月19日(月)から3月20日(火)までは、駐車スペースの予約等もできます。

○インターネット ホームページ <http://www.umed-its.com>

資料1 梅田ターミナル地区移動支援実験概要

実験概要		モニター(あらかじめ募集)	PDA(携帯情報端末)	2月19日から3月20日	別紙募集要項にて公募。身体障害者等の参加については、障害者団体等を通じての依頼も行う。	
①-1	バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験 梅田ターミナル地区の地下街を中心にしたエリアにおいて、自己位置をリアルタイムに確認しつつ、目的地までの経路案内を行う。移動困難者に対しては、利用者の条件に合致した最適なバリアフリー経路を案内する。	車いす利用者、視覚障害者等を含むあらかじめ選定したモニター(500名程度)に対し、専用のPDAを貸与し、経路案内実験を行う。経路選定の条件としては、①上下移動はエレベーターのみ、②エスカレーターは利用可能、③一定段数以下の階段は利用可能、④バリアを一切考慮しない、の4レベルを設けて実施する。	モニター(あらかじめ募集)	PDA(携帯情報端末)	2月19日から3月20日	別紙募集要項にて公募。身体障害者等の参加については、障害者団体等を通じての依頼も行う。
①-2		梅田地下街内に3ヶ所の固定情報端末を設置し、現在地から目的地までの最短の経路案内を行う。経路検索結果は印刷出力可能。	一般(随時参加可能)	現場に設置された情報固定端末	2月19日から3月20日	梅田地下街内に設置された固定の端末を自由に利用。
②-1	バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験 大阪駅前を発着し、通勤、通学、買い物、業務、観光等多目的に利用される4方面、7系統の市バス(①大阪駅前～難波(3A、B)、②大阪駅前～天保山(幹88)、③大阪駅前～桜島、舞洲方面(幹79、特79、特79A、特81)、④大阪駅前～船津橋(53))について、PDAやパソコン、携帯電話に対し、運行情報(バス位置、接近状況、所用時間、ノンステップバス等のバスの種類、時刻表等)を提供することにより、バス利用の利便性を高める。	バス沿線の事業所に勤務するなど、対象路線バスを利用するモニター(50名程度)を選定し、一定期間(約10日間)づつPDAを貸与することによって実験を行う。あらかじめ、利用バスを入力しておくことにより、自動的にバスの接近アナウンスを行うことも可能。	モニター(あらかじめ募集)	PDA(携帯情報端末)	2月19日から3月20日	別紙募集要項にて公募。主に実験バス路線沿線バス利用者から募る。
②-2		バス沿線の事業所などからモニター事業所数箇所を選定し、実験期間中、専用のアプリケーションをインストールしたパソコンを通じてバスの位置情報等を提供する。あらかじめ、利用バスを入力しておくことにより、自動的にバスの接近アナウンスを行うことも可能。	モニター(あらかじめ募集)	パソコン	2月19日から3月20日	別紙募集要項にて公募。主に実験バス路線沿線事業所から募る。
②-3		携帯電話(iモード)に対し、インターネットを利用して、バスの位置情報等を提供する。(http://www.umed-its.com/i)	一般(随時参加可能)	携帯電話(iモード)	3月1日から3月31日	あらかじめ応募の必要なし。iモードにてアクセス可能。
③-1	駐車場の情報提供、予約実験 駐車需要の多い梅田ターミナル地区において、一時預り駐車場の情報をインターネットを通じて、広く案内することで、駐車場利用促進を図る。特に、車いす利用者等を中心とした身体障害者については、バリアフリー情報を併せて提供するとともに、大阪駅前駐車場、桜橋駐車場においては、身体障害者用駐車スペースや駐車時の補助の予約を可能とすることにより、移動円滑化を図る。	駐車場の情報提供 梅田ターミナル地区の主要な一時預り駐車場(25ヶ所)について、位置や営業時間、料金等の他、車いす利用の際のバリアフリー情報(一般道路、地下街までのバリアフリー情報、身体障害者用トイレの有無等)を、インターネット上のホームページを利用し提供する。(http://www.umed-its.com)	一般(随時参加可能)	インターネット	1月29日から3月31日	あらかじめ応募の必要なし。インターネットにてアクセス可能。
③-2		駐車場の予約 車いす利用者等を中心とした身体障害者を対象に、桜橋駐車場においては身体障害者用駐車スペースの予約を、大阪駅前駐車場においては身体障害者用駐車スペースに加えて駐車時の補助(入場時の駐車券発券時の補助、料金収受時の補助、昇降時の補助等)の予約を、インターネット上のホームページから受け付ける。(http://www.umed-its.com)	車いす利用者(随時参加可能)	インターネット	2月19日から3月20日	あらかじめ応募の必要なし。インターネットにてアクセス可能。

バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験モニター募集要項**梅田ターミナル地区移動支援実験事務局**

〒556-0017

大阪市浪速区湊町 1-4-1 大阪市都市工学情報センター内

TEL:06-6647-1914 FAX:06-6647-1920

ホームページ:<http://www.umeda-its.com> e-mail:info@umeda-its.com

この度、国土交通省近畿地方整備局と大阪市では、梅田ターミナル地区における地下街を中心とした地区においてバリアフリー経路案内等の歩行者支援実験を行うこととなりました。

より快適な経路案内等の歩行者支援システムを構築していくために、多くの方にこの実験に参加していただき、実際の利用者の声をアンケート等により収集していきます。

【実験内容】

モニターとなられた方には、特定日に現地(梅田ターミナル地区)に来ていただき、実際にPDAを用いた経路案内を体験していただきます。

この実験は、PDA(携帯情報端末)により、自己位置をリアルタイムに確認しつつ、目的地までの経路案内を行うものであり、車いす利用者や高齢者といった移動困難者等にも、利用者の条件にあったバリアフリー経路を案内するものです。モニターには指定された経路あるいは梅田の地下街を自由に歩いていただき、PDAより提供される情報の内容や機器の使い心地等について、アンケートによりご意見を収集させていただきます。(実験は2時間程度を想定しております)

また、実験は4つの区分を予定しており、条件に当てはまると思われる区分を選びお申込み下さい(区分毎の条件については【モニター要件】の項を参照)。

実験期間は平成13年2月19日(月)～3月20日(火)を予定しており、区分毎に現地に来ていただく特定日を設定しております。

なお、実験参加者には粗品(「スルッとKANSAI」カード)を差し上げます。より多くの方が実験へ参加していただきますようお願い申し上げます。

【モニター要件】

実験は次の4区分を予定しております、条件に当てはまると思われる区分を選びお申込み下さい。

添付の申込用紙にある区分毎の特定日に現地に来訪でき、実験に関するアンケートに答えていただける方で、在住地等は問いません。

ただし、小学生以下でモニターに申込みをご希望される方は保護者同伴にてご参加下さい。

<区分1>**○一般利用者**

地図に加え音声や文字を利用した経路案内を行いますので、梅田ターミナル地区に不案内な方や地図を読むのが苦手な方などもご参加下さい

<区分2>

○車いす利用者等の肢体不自由者

障害の度合いに応じたバリアフリー経路の案内を行います。

<区分3>

○視覚障害者

音声を用いた経路情報の提供を行いますので、弱視、全盲の方を問わずご参加下さい。

<区分4>

○聴覚障害者

地図に加え文字を用いた経路情報の提供を行います。

【モニター申込み方法】

添付の申込用紙に必要事項を記入し、次のいずれかの方法で申込用紙を送付して下さい。

○ファクシミリにより申込用紙を送信 FAX:06-6647-1920

○郵便にて実験事務局まで申込用紙を郵送

(インターネットホームページからも申込みができます <http://www.umed-its.com>)

なお、モニター数は1日30名程度を予定しており、申込み多数の場合には抽選とさせていただきます。
また、モニター決定者には後日郵便にて通知させていただきます。

【モニター申込み締切り】

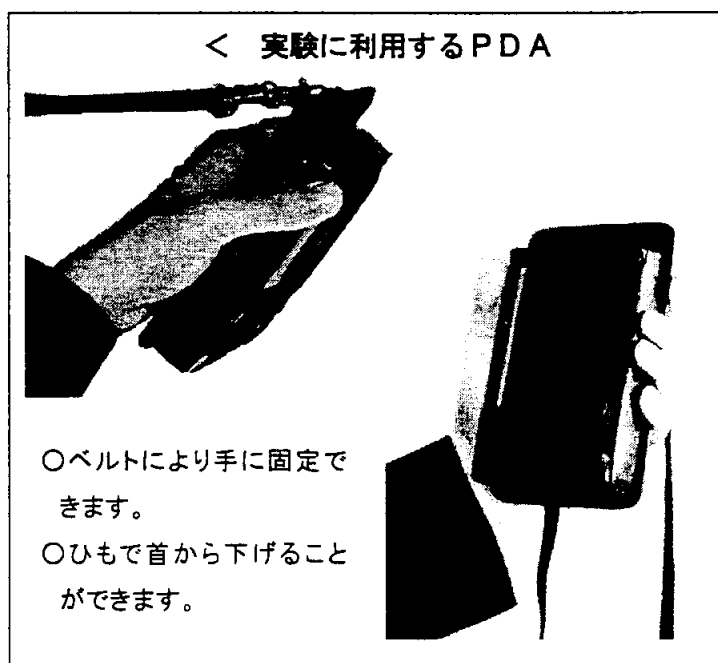
平成13年2月16日(金)

ただし、実験参加希望日の1週間前までにはお申込み下さい。

【その他】

○実験当日には、現地本部(JR北新地駅付近)に集合していただきます。

○実験に利用するPDA(携帯情報端末)は図のようなものです。



バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験モニター申込用紙

下記事項をご記入の上、ファックスまたは郵送にてお申込み下さい。

お 名 前	フリガナ	性別	年齢
	お名前 <small>保護者氏名(小学生以下の方の場合)</small>	男 ・ 女	() 歳
ご 住 所	□□□ - □□□□		
電話番号	()	FAX番号	()

希望する区分を1つ選んで下さい。

☐ 区分1 ☐ 区分2 ☐ 区分3 ☐ 区分4

モニターを希望する日時を第1希望は◎、第2希望は○として各1ヶ所記入して下さい。
実験時間は午前は10:00～12:00、午後は14:00～16:00、夜は18:00～20:00です。
なお、表中の空白の部分が実験実施日時です。

●区分1（一般利用者を対象）を希望する方はこちらへ

	2月				3月												
	19	20	23	24	25	26	2	3	4	7	8	9	12	16	17	19	20
	月	火	金	土	日	月	金	土	日	水	木	金	月	金	土	月	火
午 前																	
午 後																	
夜																	

●区分2（車いす利用等の肢体不自由者を対象）を希望する方はこちらへ

	2月				3月												
	19	20	23	24	25	26	2	3	4	7	8	9	12	16	17	19	20
	月	火	金	土	日	月	金	土	日	水	木	金	月	金	土	月	火
午 前																	
午 後																	

●区分3（視覚障害者を対象）を希望する方はこちらへ → どちらかに○をして下さい。(弱視・全盲)

	2月				3月														
							2	4	7							16	17	19	20
							金	日	水							金	土	月	火
午 前																			
午 後																			

●区分4（聴覚障害者を対象）を希望する方はこちらへ

	2月				3月														
	19	20	23	24	25	26	3												
	月	火	金	土	日	月	土												
午 前																			
午 後																			

あなたは普通どのような経路を選択されていますか？どれか1つを選んで下さい。

- ☐ 上下移動には階段やエスカレータは利用せず、エレベータだけを利用する。
- ☐ 上下移動には階段は利用せず、エスカレータとエレベータを利用する。
- ☐ 遠回りになるのであれば、ある程度までの段数の階段は利用する。
- ☐ 階段を気にせず、最も距離の短い経路を選択する。

【申込み先】

梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1大阪市都市工学情報センター内

FAX：06-6647-1920

本申込書の内容は、実験目的以外には一切使用いたしません。

バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験モニター募集要項(PDA)

梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

〒556-0017

大阪市浪速区湊町 1-4-1 大阪市都市工学情報センター内

TEL:06-6647-1914 FAX:06-6647-1920

ホームページ:<http://www.umeda-its.com> e-mail:info@umeda-its.com

大阪市では高齢者、身体障害者、来訪者にやさしく、環境にも考慮した安全で快適な交通システムの構築を行うため、先端的な情報通信技術等を活用するITS(高度道路交通システム)の推進に取り組んでいます。

この度、大阪市では大阪駅前を発着する特定のバス路線において「バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験」を行うこととなりました。この実験は、PDA(携帯情報端末)や事業所のパソコンへバス運行のリアルタイムな情報等を提供するものです。

より快適なバス運行状況のリアルタイムな情報提供システムを構築していくために、多くの方にこの実験に参加していただき、実際の利用者の声をアンケートにより収集していきます。

【実験内容】

モニターとなられた方には、一定期間(10日間程度)PDAを貸与しバス運行状況のリアルタイムな情報提供を体験していただきます。

モニターはPDAによりバス停留所に行かなくても、バスの位置や接近情報、ノンステップバスやリフト付きバス等のバスの種類といった情報を入手できます。

体験していただいた方には、提供される情報の内容や機器の使い心地等について、利用後にアンケートによりご意見を収集させていただきます。

なお、実験参加者には粗品(「スルッとKANSAI」カード)を差し上げます。車いす利用者の方等を含む、より多くの方が実験へ参加していただきますようお願い申し上げます。

【モニター期間】

①第1期モニター期間:平成13年2月20日(火)～3月2日(金)

○PDA受け取り、説明会日時:2月20日(火)17:00～、19:00～のいずれかにご参加下さい。

○PDA返却日:平成13年3月2日(金)

②第2期モニター期間:平成13年3月7日(水)～3月16日(金)

○PDA受け取り、説明会日時:3月7日(水)17:00～、19:00～のいずれかにご参加下さい。

○PDA返却日:平成13年3月16日(金)

【モニター要件】

○モニター期間中に下記の大阪市営バス路線(下図参照)をよくご利用される方

- | | |
|------|--|
| 対象路線 | I. 大阪駅前～難波(3A、3B)
II. 大阪駅前～天保山(幹 88)
III. 大阪駅前～桜島、舞洲方面(幹 79、特 79、特 79A、特 81)
IV. 大阪駅前～船津橋(53) |
|------|--|

○前述のPDAの受け取り、説明会に参加することができる方

現地本部(JR北新地駅付近)にPDAを取りに来ていただきます。その際、30 分程度の説明会を行います。

○モニターは中学生以上を対象

○実験に関するアンケートにお答えいただける方

【モニター申込み方法】

添付の申込用紙に必要事項を記入し、次のいずれかの方法で申込用紙を送付して下さい。

○ファクシミリにより申込用紙を送信 FAX:06-6647-1920

○郵便にて実験事務局まで申込用紙を郵送

(インターネットホームページからも申込みができます <http://www.umeda-its.com>)

なお、モニター数は1期間 25 名程度を予定しており、申込み多数の場合には抽選とさせていただきます。また、モニター決定者には後日郵便にて通知させていただきます。

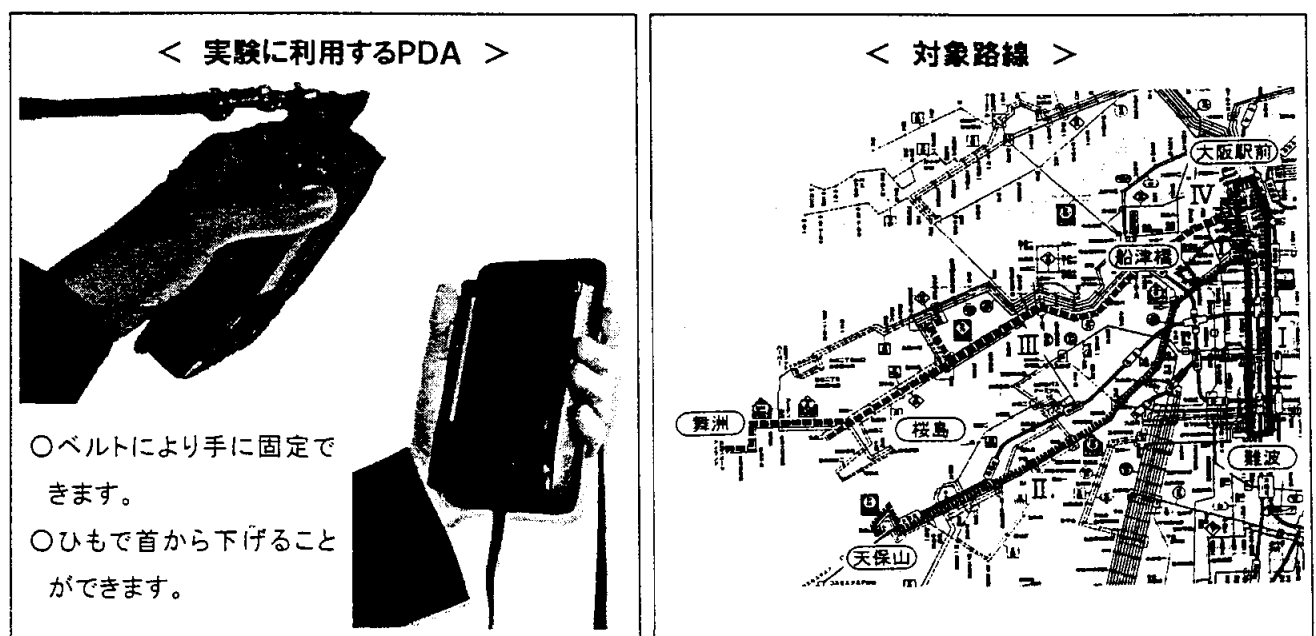
【モニター申込み締切り】

①第1期モニター締切り:平成 13 年2月 13 日(月)

②第2期モニター締切り:平成 13 年2月 16 日(金)

【その他】

実験に利用するPDA(携帯情報端末)は図のようなものです。



バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験モニター募集要項(PC)

梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

〒556-0017

大阪市浪速区湊町 1-4-1 大阪市都市工学情報センター内

TEL:06-6647-1914 FAX:06-6647-1920

ホームページ: <http://www.umeda-its.com> e-mail: info@umeda-its.com

大阪市では高齢者、身体障害者、来訪者にやさしく、環境にも考慮した安全で快適な交通システムの構築を行うため、先端的な情報通信技術等を活用するITS(高度道路交通システム)の推進に取り組んでいます。

この度、大阪市では大阪駅前を発着する特定のバス路線において「バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験」を行うこととなりました。この実験は、事業所のパソコンやPDA(携帯情報端末)へバス運行のリアルタイムな情報等を提供するものです。

より快適なバス運行状況のリアルタイムな情報提供システムを構築していくために、多くの方にこの実験に参加していただき、実際の利用者の声をアンケートにより収集していきます。

【実験内容】

モニターとなられた事業所には、一定期間事務所内のPCに専用アプリケーションをインストールさせていただきます、バス運行状況のリアルタイムな情報提供を体験していただきます。

モニターはPCによりバス停留所に行かなくても、バスの位置や接近情報、ノンステップバスやリフト付きバス等のバスの種類といった情報を入手できます。

体験していただいた従業員の方々には、提供される情報の内容等について、利用後にアンケートによりご意見を収集させていただきます。

なお、実験期間は、平成 13 年 2 月 19 日(月)～3 月 20 日(金)を予定しております。

より多くの方が実験へ参加していただきますようお願い申し上げます。

【モニター要件】

○下記の大阪市営バス路線沿線(次頁図参照)に事業所があり、従業員の方が対象路線をよくご利用される事業所

- | | |
|------|---|
| 対象路線 | I. 大阪駅前～難波(3A、3B) |
| | II. 大阪駅前～天保山(幹 88) |
| | III. 大阪駅前～桜島、舞洲方面(幹 79、特 79、特 79A、特 81) |
| | IV. 大阪駅前～船津橋(53) |

○以下の条件を満たすPCを利用されている事業所

- ・PC/AT 互換機
- ・OS:Windows98/98SE/NT4.0WorkStationSP6 以上/2000/Me
- ・必須ソフトウェア:InternetExplorer4.0 以上
- ・CPU:MMXPentium 200MHz 以上
- ・メモリ:64MB 以上
- ・ハードディスク:40MB 以上の空き容量
- ・サウンド機能を有する PC であること
- ・インターネットに接続可能な環境であること
- ・セキュリティポリシー、ネットワークの各種設定(ファイアウォールの設置、Proxy サーバの設定など)によってはご利用になれない可能性があります。

○その他、細かい諸条件に付いては、別途確認させていただきます。

○実験に関するアンケートにお答えいただける事業所

【モニター申込み方法】

添付の申込用紙に必要事項を記入し、次のいずれかの方法で申込用紙を送付して下さい。

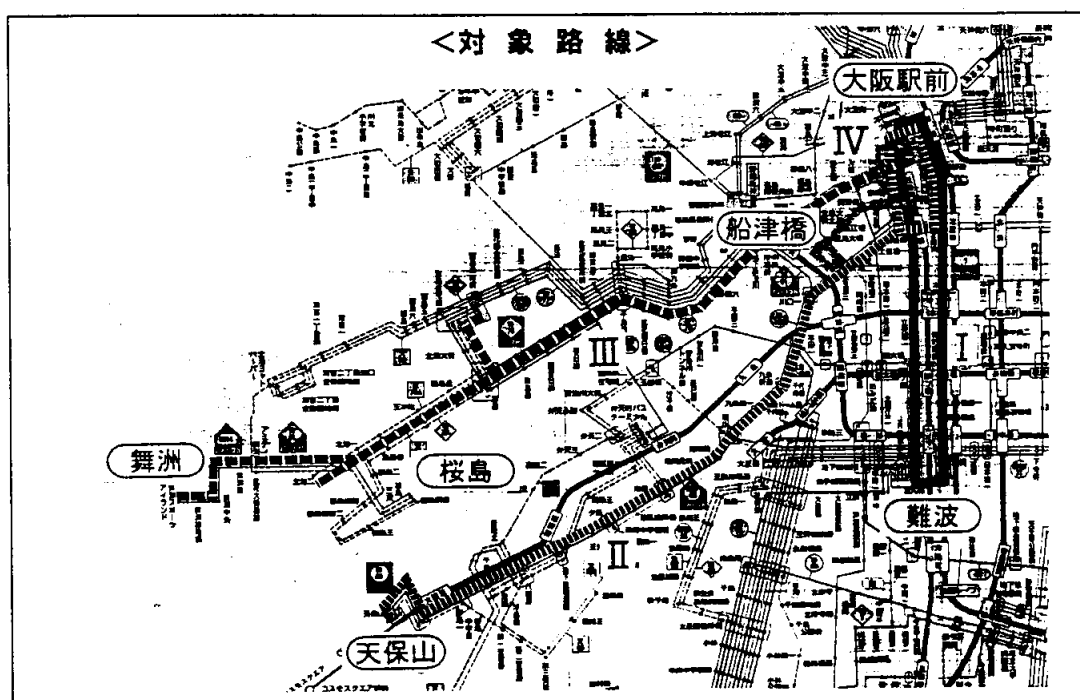
○ファクシミリにより申込用紙を送信 FAX:06-6647-1920

○インターネットホームページより申込み <http://www.umedai-its.com>

なお、申込み多数の場合には抽選とさせていただきます。また、モニター決定者には後日通知させていただきます。

【モニター申込み締切り】

平成 13 年2月 16 日(金)



バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験モニター(PC)申込用紙

下記事項をご記入の上、ファックスまたは郵送にてお申込み下さい。

事業所名	フリガナ		
	お名前		
ご住所	□□□ - □□□□		
担当部署		担当者名	フリガナ お名前
電話番号	()	FAX番号	()
e-mail			

インストール可能なパソコン台数は何台ぐらいですか？	()台程度
想定される利用人数は何人ぐらいですか？	()人程度

【申込み先】

梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1大阪市都市工学情報センター内

FAX : 06-6647-1920

本申込書の内容は、実験目的以外には一切使用いたしません。

梅田ターミナル地区移動支援実験

大阪市では、オリンピックの招致をめざす2008年を目標として、高齢者や身体に障害のある方をはじめ地理に不案内な方なども安心して都市内を円滑に移動できるよう『移動に関する総合的な都市情報システム』の構築に取り組んでいます。徒歩・公共交通等による目的地までの経路案内などの交通情報や観光情報など、移動に必要なリアルタイムな情報が随時入手できる交通システムをめざし、今回、梅田ターミナル地区において、地下街での移動やバス、駐車場の利用を、携帯情報端末器などにより総合的に支援する実験を実施します。

この実験は、高齢者や身体に障害のある方などを含め幅広い市民の方々を対象に行うもので、モニターとしてのご参加とご協力をよろしくお願いいたします。



期間：平成13年1月末から3月末まで

場所：梅田地下街とその周辺

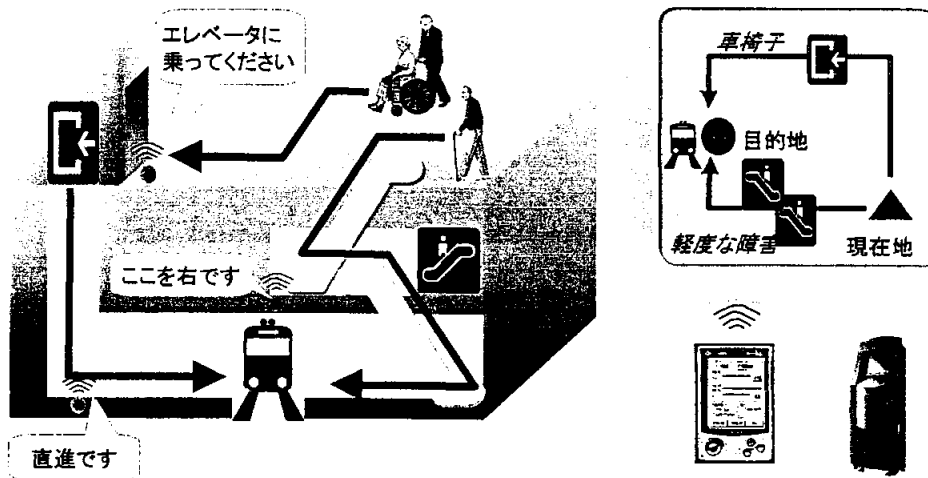
詳しくは <http://www.umeda-its.com>

実験内容

- ① バリアフリー経路案内等の歩行者支援
- ② バス運行状況のリアルタイムな情報提供
- ③ 駐車場の情報提供・予約

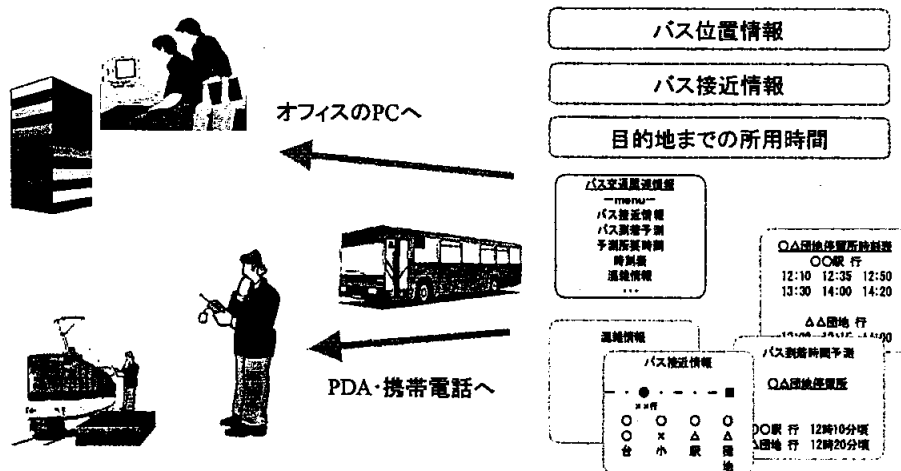
梅田ターミナル地区移動支援実験事務局

バリアフリー経路案内等の歩行者支援実験



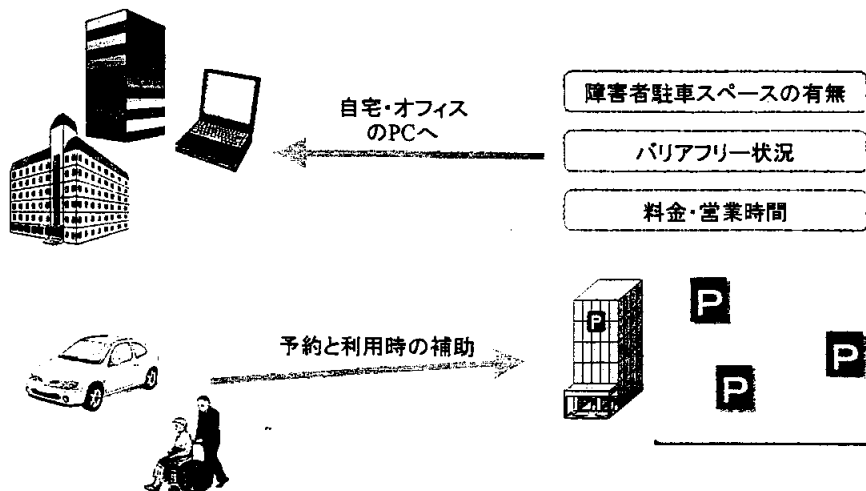
通信機能をもつPDA(携帯情報端末)を使って、地下街における自己位置をリアルタイムに確認しつつ、目的地までの利用者の条件に合致した最適なバリアフリー経路を案内します。

バス運行状況のリアルタイムな情報提供実験



大阪駅前を発着する4方面、7系統の路線バスのリアルタイムな運行情報(バス位置、接近情報、所要時間、リフト付きバスやノンステップバスなどのバスの種類等)をPDAやパソコン、携帯電話を通じて利用者に提供します。PDAやパソコン利用のモニター利用者に対しては、接近情報等を音声等によりアクティブに提供します。

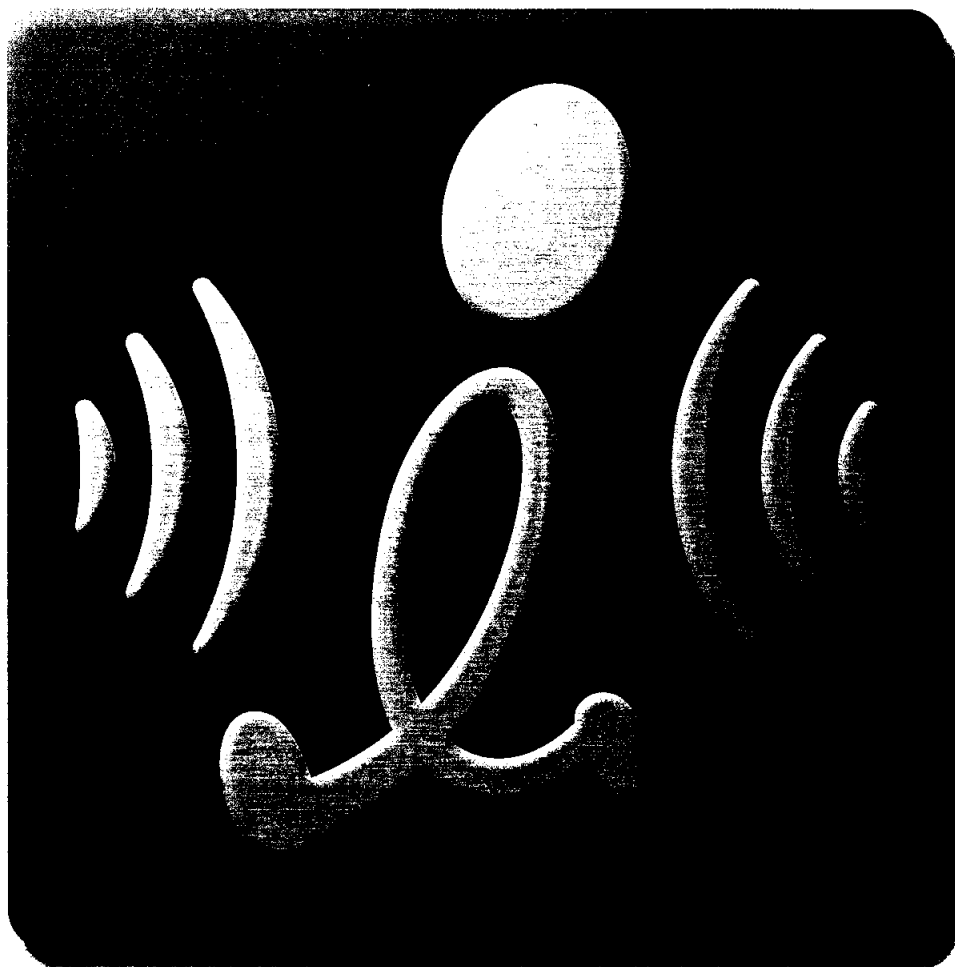
駐車場の情報提供、予約実験



梅田地区の一時預かり駐車場(24カ所)の情報(位置、営業時間、料金等のほか、車いす利用の際のバリアフリー情報等)をインターネット上のホームページにより提供します。また大阪駅前駐車場、桜橋駐車場では、車いす利用者等を対象に、障害者用スペースの予約や駐車に伴う各行程での補助等のニーズをあらかじめ受け付け、駐車場利用の利便性を高めます。

みちはかしこく、 まちはやさしく

歩行者支援のためのITS



「歩行者ITS」

「歩行者ITS」は、ITS（Intelligent Transport Systems 高度道路交通システム）の主要な開発分野の一つであり、歩行者、車椅子使用者、自転車などに、安全・快適・利便を提供する道路システムです。

「歩行者ITS」は、いま、なぜ必要とされているのでしょうか？

高齢社会の到来

4人に1人が65歳以上となる高齢社会の到来が迫り、高齢者でも安心して移動できる歩道の整備が求められています。

福祉社会の到来

「交通バリアフリー法」の制定など、高齢者や障害者、車椅子を使用している方が積極的に社会参加できる環境が整いつつあります。

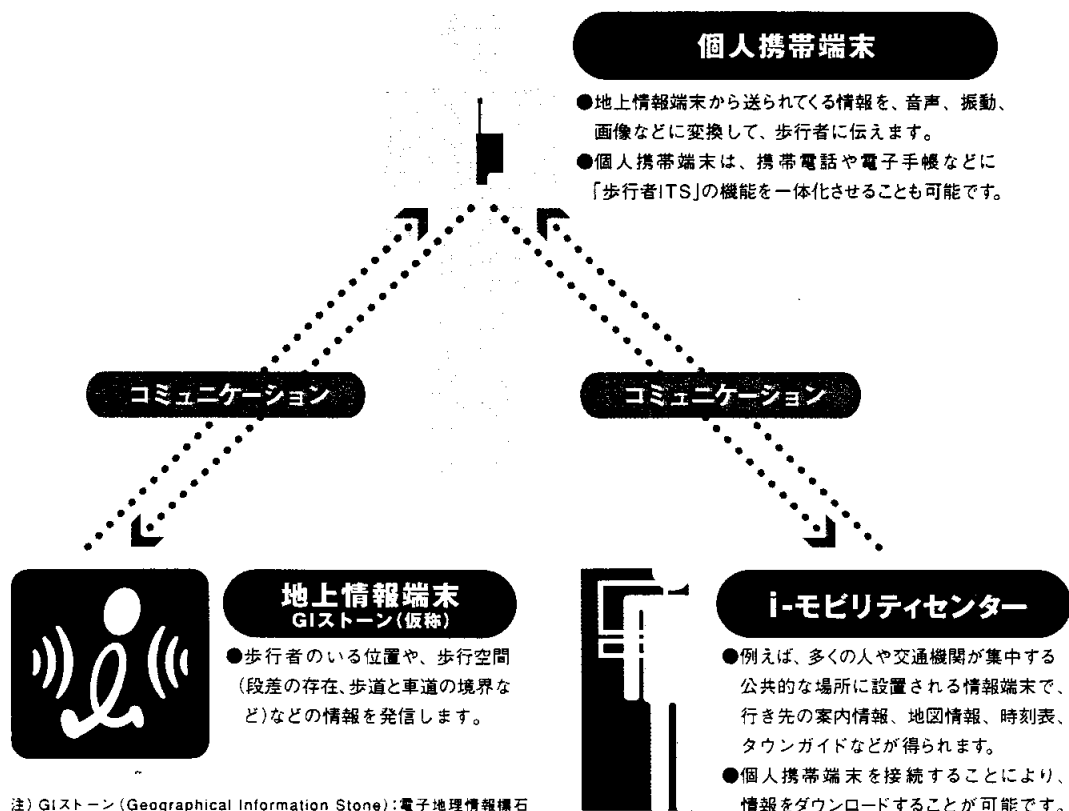
情報化社会の到来

高度通信技術の発展により、遠隔医療など高度なサービスが実現しています。また、携帯電話(含むPHS)の契約数も5,700万台近くに達する(2000年3月末)など、個人への情報提供の環境が整い始めています。



こうした社会背景を踏まえ、「歩行者ITS」の技術によって、歩行空間等における歩行者、車椅子使用者、自転車などの安全性・快適性・利便性の向上を目指します。

「歩行者ITS」とはどんなもの？



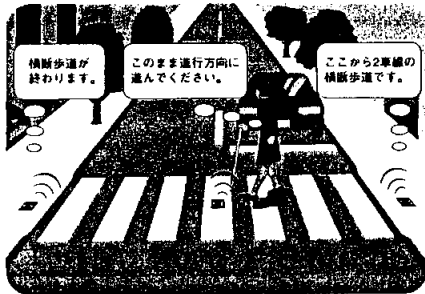
「歩行者ITS」は、例えば こんなお知らせや案内をします

歩行空間

安全・安心の情報を伝えます

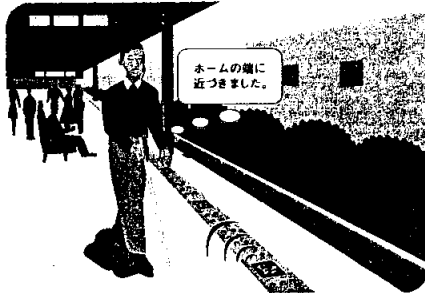
道路・歩道上で

- 段差や横断歩道の位置、工事箇所などを知らせます。
- 安全・安心なバリアフリールートを知らせます。



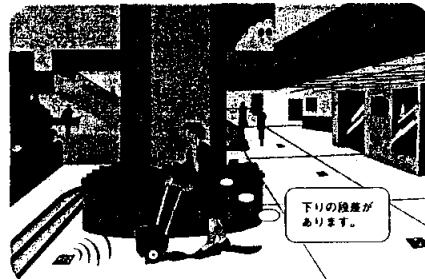
公共の施設で

- 駅のホームや公共施設の周辺において段差・障害物などの存在を知らせます。



民間の施設で

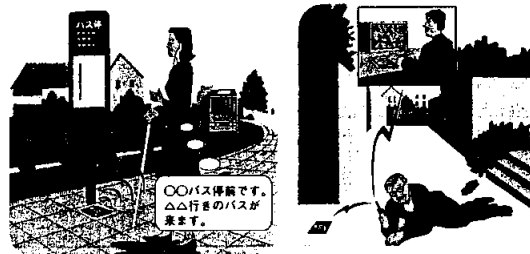
- 段差・障害物などの存在を知らせます。



いまいるところの案内をします

道路・歩道上で

- バス停の位置やバスのダイヤなどの案内をします。
- 歩行中の事故や、お年寄りの徘徊、迷子などが発生した際、関係者に場所を知らせます。



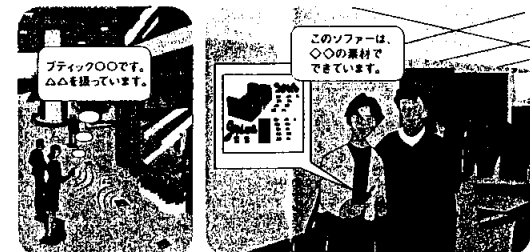
公共の施設で

- 市役所などの公共施設内で、今いる場所を知らせます(「ここは、〇〇カウンター前です」など)。
- 美術館や博物館などで、展示物の説明を行います。



民間の施設で

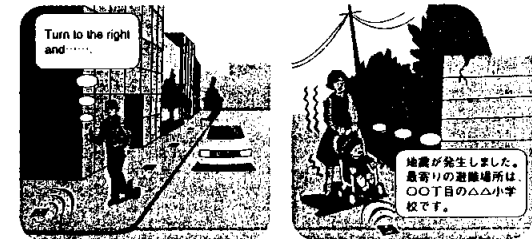
- 商業施設などの出入口や、売場の案内を行います。
- ショッピング情報や、催し物情報などの案内を行います。



行き先までの案内をします

道路・歩道上で

- 目的地までの適切なルート案内をします。
- 車椅子利用者、お年寄りなどには、障害の少ないバリアフリールートを案内します。
- 歩行中に必要になった近辺の情報(例えば公衆トイレなど)を案内します。
- 災害時に、緊急避難ルートの案内をします。



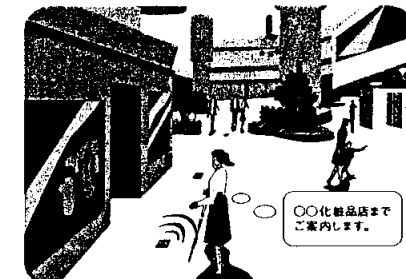
公共の施設で

- 目的地までの適切なルート案内をします。



民間の施設で

- デパートや公園、テーマパークなどにおいて、目的地までのルートや施設の案内をします。



生活空間

基本

(サービスのひろがり)

応用

(注) ここで描かれているサービスは、道路管理者が発着するものととまらず、民間施設における整備や、民間による歩行者支援のためのサービスの提供を想定したイメージです。

「歩行者ITS」推進の方向——官民の緊密な協力・連携で

「歩行者ITS」のサービスを、ひろく社会のご理解を得て、速やかに円滑に提供するため、官民の緊密な協力・連携のもとに「歩行者ITS」の研究開発とその導入を推進してまいります。

行政の役割

- 地上情報端末の技術開発
- 技術基準の策定
- 「歩行者ITS」に対応した道路ネットワークデータの構築
- 歩行空間での整備など

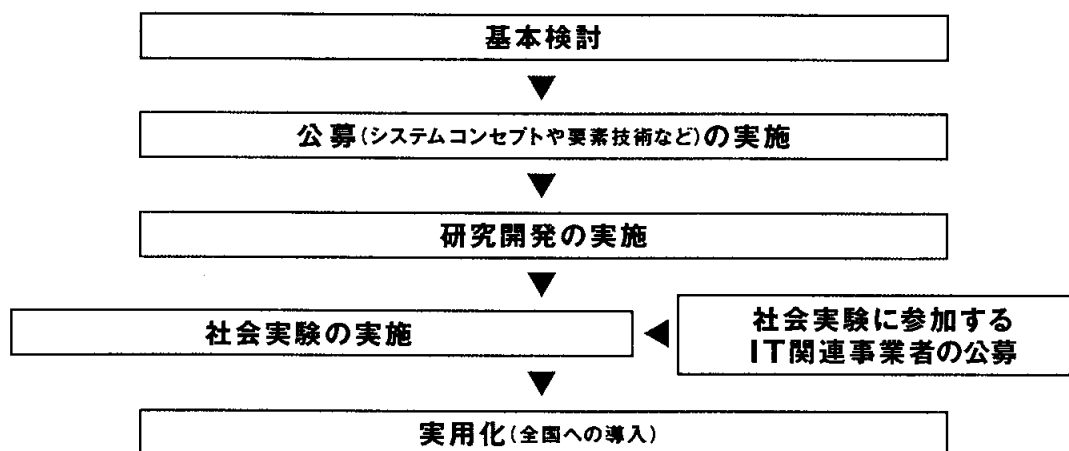
仕様の公開

市場のひろがり

- 携帯電話のインターネットサービスとの連携
- 個人携帯端末の開発
- アプリケーションの開発
- 付加価値サービスの提供など

「地上情報端末」の技術開発予定

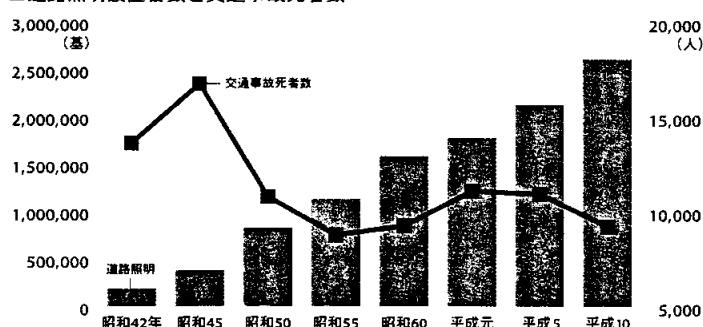
「歩行者ITS」を研究開発するために、さまざまなアイデアを募集します。また、社会実験を通じて、皆さまの声を反映するとともに、個人携帯端末開発のフィールドを提供します。研究開発および社会実験に基づき技術基準を策定し、基準に基づき実用化します。



かつて、街灯が整備され、夜の道が安心になりました。これからは、「歩行者ITS」が、24時間、道の安全・快適・利便を実現します。

いまでも、どこにでもあり、誰もが空気のようにその存在を当たり前に思っている街灯。でも、つい30年くらい前までは、街灯はまだ珍しく、夜になると真っ暗な道が少なくありませんでした。街灯の普及が、事故死者数の削減に役立つとともに、夜中の外出の不安を解消し、道をより安全なものにしました。

■道路照明設置台数と交通事故死者数



関連するホームページ

建設省道路局：<http://www.moc.go.jp/road>
 ITS：<http://www.moc.go.jp/road/ITS/j-html/Index.html>
 建設省土木研究所：<http://www.pwri.go.jp/>

道路広報センター TEL 03-3234-4310

歩行空間が 変わります

安全・快適な空間が、ひろがります

利便性に富むサービスが、ひろがります

新しいまちづくりを 支えます

新しい時代に対応した、
人にやさしいまちづくりを
支えます

新しい産業を 育成します

情報通信技術を活用する、端末、
アプリケーション、サービスなどの
事業機会をひろげます

EX.1 さまざまなバリアフリーのまちづくり

●年齢 ●身体機能 ●言語 ●情報 など

EX.2 雪や災害(地震、豪雨など)に強いまちづくり

EX.3 国際化に対応したまちづくり

EX.4 歴史・文化を活用したまちづくり など

EX.1 個人携帯端末の分野

EX.2 通信インフラの分野

EX.3 歩行者への情報サービスプロバイダーの分野

EX.4 電子広告サービスの分野 など

「成長する社会資本」の 形成を行います

コミュニケーションする情報は、使いながら、
より多くの皆さんが満足するように工夫することができます
新たなニーズ、変化する時代の要求に対応できます